

森山よしひさ

後援会ニユース

2014年5月 第22号



発行 森山楨久後援会事務局
 〒五五六-〇〇一五
 大阪市浪速区敷津西二-1-11
 YKビルディング一階A号室
 ☎ 〇六-六六三〇-八八〇〇
 FAX 〇六-六六三〇-九二六〇

確定申告・税務相談等

中企連浪速

☎ 06-6630-7200
 Fax 06-6630-9260



今日のパトロールコースは

大阪市議員の森山よしひさです。現在、私は無所属で党派を超えて浪速区でがんばらせて頂いております。また、出前の市政報告会もさせて頂いておりますので、お気軽にご連絡いただきます様よろしくお願ひします。

新年度も始まり、新しい環境で生活や仕事等に就かれた方々は少し落ち着いてきた頃ではないでしょうか。八十八夜も過ぎ、夏の足音が聞こえてきそうな感じですが、心と身体の変調には気を付けて下さい。

財政総務委員会と

大都市・税財政特別委員会での質疑を行いました

三月六日財政総務委員会で次の質疑を行いました

- ・ 人件費予算と職員給与について
- ・ 市民交流センターについて
- ・ 公共工事の入札状況について
- ・ 今通常国会で成立されるであろう「地方自治法の一部を改正する



特別委員会での質疑

今国会に出された案を私なりに分かりやすく説明しますと、現在地方分権改革は国から地方へ、大阪府から市町村へ権限を移す流れです。住民に身近な行政はできる限り府ではなく市町村で行っていくべきであり、

法律案」について四月七日の大都市・税財政特別委員会では質疑を行いました。

- ・ 大都市を含めた基礎自治体をめぐる現状と課題を踏まえ
- ・ 現行の大都市等に係る制度の見直し
- ・ 新たな大都市制度及び大阪の現状と今後の課題の行政サービス提供体制について伺いました。

現在大阪市を解体する都構想は市の権限を府に奪われることになり、地方分権の時代に逆行する制度です。また、改正案では大阪市内の中に総合区を設ける事ができません。現在の区長は市民の意見を聞くのではなく、市長の顔色ばかり見ているように思えますが、国は議会の同意を得て選任される総合区長を選び、住民の意見を聞ける制度にする事となっています。また、二重行政に関しても大阪府と大阪府が協議し合う調整会議を設置すること

・ 必要があれば国が勧告をする
 これらの事で今後必要のない二重行政はなくす事ができると書かれています。
 もし、大阪市を5分割に解体したならば、まさに五重行政になり、各区に新たに体育館や図書館という施設が乱立してしまいます。
 また、現在は市と府の話し合いで済むものが府と5つの区との話し合いになり、ますます混乱を招く事になると思います。



桜ママバレーが開催されました

朗らかに行われた選手宣誓

桜が満開のもと、四月六日の早朝より難波中学校体育館で浪速区ファミリィバレーボール大会の熱戦が繰り広げられ、来賓として私も参加させて頂きました。
 区内9チーム二〇歳代〜七〇歳代の総勢一〇名による熱いプレーをまの当たりにし、区内の女性の活気あるたくましさに脱帽でした。選手のみなさん本当にお疲れさまでした。
 これからも浪速区の発展へみなさんと共にごがんばらせていただきます。

臨時福祉給付金・子育て世帯

臨時特例給付金について



平成26年4月から消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、所得の低い方や子育て世帯のご負担への影響を鑑み、臨時的な措置として給付金を給付するものです。

大阪市では、7月以降の申請開始に向けて現在準備中です。

申請方法などが決まりましたら、広報紙等でお知らせされます。なお、対象になると思われる方については、申請開始までに、個別にご案内が送付される予定です。

中学校給食 生徒のニーズに合ったボリュームある暖かい給食を



高槻市の中学校給食（合同校炊飯方式）

さて、私は議員に初当選以来、中学校給食の必要性を訴えてきました。一步一步ではありますが、実現をしております。

平成24年9月より市内128校中45校（難波中・津中）で選択式給食が始まりました。

25年1月には新たに52校（日本橋中）で、同年9月には市内全中学校で選択式ではありませんが、実施にいたりました。そして浪速区では本年4月からは中学校1年生は選択式ではなく、全員給食を



自校式の中学校を見学する
森山議員

浪速区内中学校では温かくない弁当のような給食で、味や量を疑問視する声も多く聞かれています。

生徒のニーズにあったボリュームのある暖かい給食の実現を目指さなくてはなりません。



浪速区内中学校のデリバリー給食

食べることにになり、更に一步前進しました。

隣の西成区では鶴見橋中・今宮中・梅南中の3校はこの4月から1年〜3年の全校生徒が給食を食べる事になり、少しうらやましく思っています。

私自身は生徒全員がみんな楽しんで同じ給食を食べてもらいたいと思っています。

しかしながら、現在の給食にも問題点はあります。現在のデリバリー方式（業者が配達するシステム）というものを採用しているの、温かいもの、手作り感のあるもの、味や量といったものが、ま

だまだ生徒たちのニーズに合っているものではありません。

もっと多くの生徒が給食を食べる事により、ニーズに合った給食が早く実現できるものと考えます。

先日、今年度より業者によるデリバリー方式から自校式（学校内の調理）に変わった高槻市の中学校に見学に行かせていただき、現地では色々な工夫がなされ、隣の小学校で作られた給食

平成26年度 一般会計補正予算案 提出される

大阪市は、橋下市長が2月に辞職したことに伴って、人件費などの義務的経費が中心の「骨格予算」となった今年度の当初予算を肉づけするため、一般会計の総額で、約195億円の今年度の補正予算案をまとめました。

先月の市議会で、予算から削られた、問題点が指摘されている公募校長の関連経費の2800万円や、4万人以上の反対署名が集まったにもかかわらず、住吉市民病院を廃止し、一部の機能を移す大阪府立母子医療センターの工事費、5億2500万円なども改めて盛り込みました。

さらに、一度否決された市立幼稚園を廃園・民営化（浪速区では立葉幼稚園）させる条例案を再度上程や、カジノを中心とした複合

を中学校へ運んだり、中学校に給食用厨房を作り、近隣何校かに運ぶ方式でした。

私が行った場所では隣の小学校から運ばれた温かいカレーライスを試食させていただきました。生徒たちも楽しそうに全員で給食を食べている姿を見て、大阪市も少しでも早く生徒たちのニーズに合ったものを出せるやり方を行うべきだと実感しました。

この高槻市の方法なら費用を

抑える事ができ、例えば浪速区なら塩草立葉小から難波中へ、大国小から木津中へ、日東小から日本橋中へと配達すれば給食を運ぶ費用だけで可能だと思います。

これからも生徒たちには浪速区の宝として成長してもらえよう。私も大阪市会ががんばってまいります。

次号教育関係記事では学校選択制関連を掲載予定です。

型観光施設の誘致、JR新大阪駅から関西空港へのアクセス改善に向けた鉄道路線「なにわ筋線」の整備に向けた調査費も計上しました。

橋下市長は収入の範囲で予算を組むことを目指していますが、180億円の収支不足が発生し、

貯金にあたる財政調整基金を取り崩すなどして補填します。

今後当面は単年度で200〜300億円程度の不足が発生する見通しです。

私たちもしっかりと大阪市の予算案を注視していかなくてはなりません。



編集部より

今年に入り、浪速区内において街頭犯罪や事件・事故が大変多いような気がします。

4月には白昼区内のコンビニ2件で事件がありました。

また、車上狙いも昨年よりかなり多発しているようです。

私たちが区民一人一人が更に防

犯意識を高め、実行する事で浪速区での犯罪件数も減り、区のイメージアップにつながると思っています。

安全・安心の誇れる浪速区をみなさんと共に目指し、たくさんの子どもの定着につなげたいと思います。